

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	障害福祉課長 萩原 直規	
		主管課(関係課)【2】	障害福祉課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑2-3 障害者の社会参加の拡大		元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	障害者が、社会参加や就労を通じていきいきと暮らすためには、さらなるサービスの充実と就労に関する支援が必要です。 社会参加については手話通訳者などの派遣や移動支援などの地域生活支援事業を充実するとともに、就労支援については障害者就労支援センターの体制強化により拡充していく必要があります。 特に、障害者自立支援法の施行により現在の福祉作業所や小規模通所授産施設や精神障害者共同作業所などにおいては、平成23年度までに新たなサービス体系に移行することになり、大幅な再編が必要になります。		・さまざまな形態による就労体験の充実 ・地域との交流を促進することによる地域生活への移行支援 ・就労支援体制の強化 ・施設の新たなサービス体系への移行	障害のある人が、地域のなかで、元気に生きがいをもって暮らせるまちをめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇今後、障害者基本法改正や障害者自立支援法に代わる(仮称)障害者総合福祉法の制定に向けた動きが進められる中で、新法における国と地方の役割分担に注目が集まると考えられます。				
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
1	障害者の多様な社会参加を支援します	障害者の多様な社会参加支援		
2	障害者の雇用・就労への支援を進めます	障害者の雇用・就労支援		

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24		
成果指標【12】	指標1	名称	「雇用促進など障害者の社会参加の促進」に対する市民満足度	目標値	15%				単位	%		
		算出式・説明	だれもが元気に暮らすまちづくりのためには、障害者の社会参加の拡大のための支援を行うことが必要です。市民意識調査で把握します。			実績値	8.9	8.9	8.9	9.8		
		達成率				59%	59%	59%	65%			
	指標2	名称	障害者(児)スポーツ事業への参加者数		目標値	500人				単位	人	
		算出式・説明	障害者が地域で元気に暮らすためにさまざまな社会参加の機会を提供することが必要です。スポーツをきっかけとして日常生活への自信をつけたり、地域との交流を促進していくことが重要です。			実績値	345	340	375			
		達成率				69%	68%	75%	0%			
	指標3	名称	就労援助事業への登録者数		目標値	100人				単位	人	
		算出式・説明	障害者の自立と社会参加のためには、生活支援だけでなく就労支援が必要です。そのために市として障害者の地域での一般就労を支援することが重要です。			実績値	72	96	114			
		達成率				72%	96%	114%	0%			
	指標4	名称			目標値					単位		
		算出式・説明				実績値						
		達成率										
達成率の平均値					67%	74%	83%	22%				

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度			
満足度(%)	8.9%	満足度(%)	9.7%	満足度(%)	
満足度(平均ポイント)	-0.18	満足度(平均ポイント)	-0.16	満足度(平均ポイント)	
重要度(%)	71.3%	重要度(%)	71.5%	重要度(%)	
重要度(平均ポイント)	1.05	重要度(平均ポイント)	1.07	重要度(平均ポイント)	

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
		<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
総合評価	判断理由等【24】	障害者の社会参加の拡大については、これまでも障害者(児)スポーツ等支援事業の実施や就労支援の取組みを進めてきたことに加え、現在、相談支援・就労支援・地域活動支援・生活訓練・生活介護・地域交流等の総合的な拠点となる(仮称)障害者福祉総合センターを平成23年度中のオープンに向けて建設中です。このように、現在の計画ベースでも施策内容の拡充が図られることとなっていることから、当面は施策内容・コストともに現状計画ベースを維持し、(仮称)障害者福祉総合センターの適切な運営により成果の向上を目指すものと判断しました。		
		施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
なし				

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
		<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
総合評価	判断理由等【24】	障害者の社会参加の拡大については、これまでも障害者(児)スポーツ等支援事業の実施や就労支援の取組みを進めてきたことに加え、現在、相談支援・就労支援・地域活動支援・生活訓練・生活介護・地域交流等の総合的な拠点となる(仮称)障害者福祉総合センターを平成23年度中のオープンに向けて建設中です。このように、現在の計画ベースでも施策内容の拡充が図られることとなっていることから、当面は施策内容・コストともに現状計画ベースを維持し、(仮称)障害者福祉総合センターの適切な運営により成果の向上を目指すものと判断しました。		
		施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-3 障害者の社会参加の拡大

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
2	障害者就労支援援助事業の充実	障害福祉課	支援対象者及びその家族などの求めと必要に応じて職業相談・求職活動・離職後の相談等の就労面の支援を行っています。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価 (直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
1,244	436	808	改善・見直し (平成21年度)	中	障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として、障害者スポーツ指導員及び障害者スポーツ補助員の指導を通して、心身または精神に障害のある者がスポーツレクリエーション活動を行うことにより、地域でのスポーツレクリエーションの振興及び健康増進を図ることを目的としています。	A
24,412	23,604	808	改善・見直し (平成19年度)	中	障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供することにより、障害者の一般就労を促進し障害者の自立と社会参加の促進を図ります。	A
25,656	24,040	1,616				